



1
28. 7. 191800c
南スーザン派遣施設隊

南スーザン派遣施設隊 日々報告

第1647号

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
 - 活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令
(方針・指導要領・各部隊の任務)
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情勢

(1) 全域

ア 和平合意関連

11日、キール大統領及びマシャル副大統領による再合意があったものの、和平合意の進捗は進展が乏しく、ジュバにおける両勢力の戦闘により、さらに時間を要するものと思料

また、国際社会及び周辺国からの軍隊の派遣又はUNMISSの増派に対し、南スーダン政府（SPLA）及びディンカ族が強く反対していることから、新たな対立構造を生起させる可能性があり注視が必要

イ その他の情報資料

南スーダンのSPLA-IIO側勢力圏における活動が活発化してきており、**SPLAによる動員及び軍事行動も確認できることから、**ジュバでの戦闘事象の影響が出始めているものと思料。また、北部及び南部地方において、地元の者と思われる武装集団とSPLA又は暫定政府との間で戦闘が過去に生起しており、暫定政府及び新28州制に基づく新州行政機関の治安統治能力は地方においては十分に發揮できていないため、報復又は一般犯罪は継続するものと思料

また、南スーダン全域で食糧不足が発生し、生活苦のため略奪等が多発しているため注視が必要

(2) ジュバ市外

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせているものの、南部3州におけるSPLAとSPLA-IIOによる戦闘及びSPLAと武装集団による武器を狙う襲撃事案等が生起する可能性があるため、注視が必要

凡例 赤字：変化事項

凡例 赤字：変化事項

(3) ジュバ市内

市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、外国人による商店の閉鎖による物資の減少等、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、SPLAによる略奪、暴行等の犯罪も常態化していることから市内での活動には注意が必要であるとともにSPLAによる犯罪の対象となるIDPの動向にも注視が必要

また、ジュバ市内において外国軍隊の増派反対デモが実施される可能性があり、その内容及び動向にも注視が必要

また、市内で疾病（コレラ、マラリア）が発生しており注意が必要

(4) ウガンダ

暴動等の巻き込まれに注意が必要。また [REDACTED] が出されており、空港、ショッピングモール、レストラン等人の多く集まる場所は注意が必要

また、ウガンダ軍による南スーダン国内における自国民保護を実施中

(5) 活動に及ぼす影響

宿营地周辺における射撃による流れ弾及びIDP同士の小競り合いへの巻き込まれ等に注意が必要であるとともに、**疾病に注意が必要**

2 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動として、UNトンピン地区内
██████████を実施する。また、人道支援実施のための環境作りとして、UNトンピン地区内の給水活動及びメインロード道路補修を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

UNトンピン地区 ██████████

第1施設小隊、第2施設小隊及び第3施設小隊をもって、UNトンピン地区内における
██████████を実施するとともに、施設器材小隊をもって器材支援を実施する。

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

なし

(イ) 給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：2t）

(ウ) インフラ整備

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区における情報収集活動

b 隊本部をもって、UNトンピン内におけるUNMIS S本部からの情報収集

(イ) 業務調整等

a 本部付隊をもって、宿营地管理業務

b 隊本部をもってUNトンピン地区内における業務調整

- (ウ) 宿营地内整備
な し
- (イ) 教育訓練等
な し
- (オ) 民生協力
な し
- (カ) 隊本部をもって、UNトンピン地区内における司令部幕僚の送迎
- 工 表敬等
な し
- オ 各種行事
な し
- 力 国際機関等連携案件
な し

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動として、UNトンピン内
及びIDPトランジット構築を実施する。また、人道支援実施のための環境作りとして、
UNトンピン内の給水活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

(ア) UNトンピン地区

第1施設小隊、第2施設小隊及び第3施設小隊をもって、UNトンピン地区内における
[REDACTED]を実施するとともに、施設器材小隊をもって器材支援を実施

(イ) IDPトランジット構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区におけるコンテナ揚重を実施

イ 人道支援実施のための環境作り等

(ア) 施設活動

なし

(イ) 給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動

(ウ) インフラ整備

なし

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

a 情報班をもって、UNトンピン地区における情報収集活動

b 隊本部をもって、UNトンピン内におけるUNMIS S本部からの情報収集

(イ) 業務調整等

a 本部付隊をもって、宿営地管理業務

b 隊本部をもってUNトンピン地区内における業務調整

- (ウ) 宿营地内整備
なし
- (イ) 教育訓練等
なし
- (オ) 民生協力
なし
- (カ) 隊本部をもって、UNトンピン地区内における司令部幕僚の送迎
- 工 表敬等
なし
- オ 各種行事
なし
- 力 國際機関等連携案件
なし

2 別紙（細部活動状況）

1 本日の成果

別紙第1 「活動概要」

別紙第2 「活動成果」

2 明日の活動

(1) 活動に及ぼす影響

別紙第3 「情勢」

別紙第4 「装備品等現況」

別紙第5 「患者受診状況」

別紙第6 「人員現況」

別紙第7 「総括（評価）」

(2) 活動命令

別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」

別紙第9 「視察・来隊予定」

別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

別紙第11 「全般活動予定表」

3 情報共有事項

別紙第12 「連携案件等情報」

1 本日の成果

別紙第1 「活動概要」
別紙第2 「活動成果」

活動概要 (UN トンピン地区) (1/4)

| 番号 | 区分 | 任務 | 部隊 | 時間 | 場所 | 人員 | 車両 | 警備 |
|----|-----|------------------------|--------------------------|---------------|---------|----|--------------------------------------|----|
| ① | 施設 | トンピン地区 (器材支援) | 器材小隊 | 0800~ 1630 | UN トンピン | 16 | 油圧×2、バケット×1 道障車×1、ダンプ×3 クレーン×1 | |
| ② | | トンピン地区 | 1小隊 | 0800~ 1630 | | 22 | 高機×1、大型×1 | |
| ③ | | トンピン地区 | 2小隊 | 0800~ 1600 | | 18 | 高機×1、中型×1 | |
| ④ | | トンピン地区 | 3小隊 | 0800~ 1630 | | 21 | 高機×1、大型×2 中型×1 | |
| ⑤ | | トンピン地区 (資材配分及び工事作成) | 1小隊 2小隊 3小隊 隊本部 | 0800~ 1630 | | 34 | 大型×3 資材運搬車×1 | |
| ⑥ | | テストコース地区外柵構築 | 器材小隊 | 1300~ 1500 | | 5 | 高機×1 | |
| ⑦ | その他 | 給水 | 補給班 | 0800~ 1000 | トランジット | 2 | 給水車×1 | |
| ⑧ | その他 | 給水 | 補給班 | 1000~ 1200 | ネパール隊 | 2 | 給水車×1 | |
| ⑨ | 情報 | 情報収集 | 情報班 | | | | | |
| ⑩ | その他 | 司令部幕僚送迎 | 隊本部 (S-3) | 0650~ 1900 | セクターサウス | 5 | 高機×1 | |
| ⑪ | | 業務調整(連絡) | 隊本部 (S-3) | 0820~ 1600 | | 2 | 高機×1 | |
| ⑫ | | UN TETRA修理 | | 0900~ 1200 | UN トンピン | 3 | 高機×1 | |
| ⑬ | | 広報活動 | 隊本部 (広報) | 0800~ 1700 | UN トンピン | 2 | 小型×1 | |
| ⑭ | | 追送業者の誘導 | 隊本部 (S-4) | 1245~ 1500 | ウェストゲート | 3 | 小型×1 | |

凡例



UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／4）

別紙第1-2



| | |
|----|------------|
| 9 | [Redacted] |
| 13 | 広報活動 |

活動概要（UNハウス地区）（3／4）

別紙第1-3

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／4）

別紙第1-4

ジュバ市内活動部隊なし

活動成果

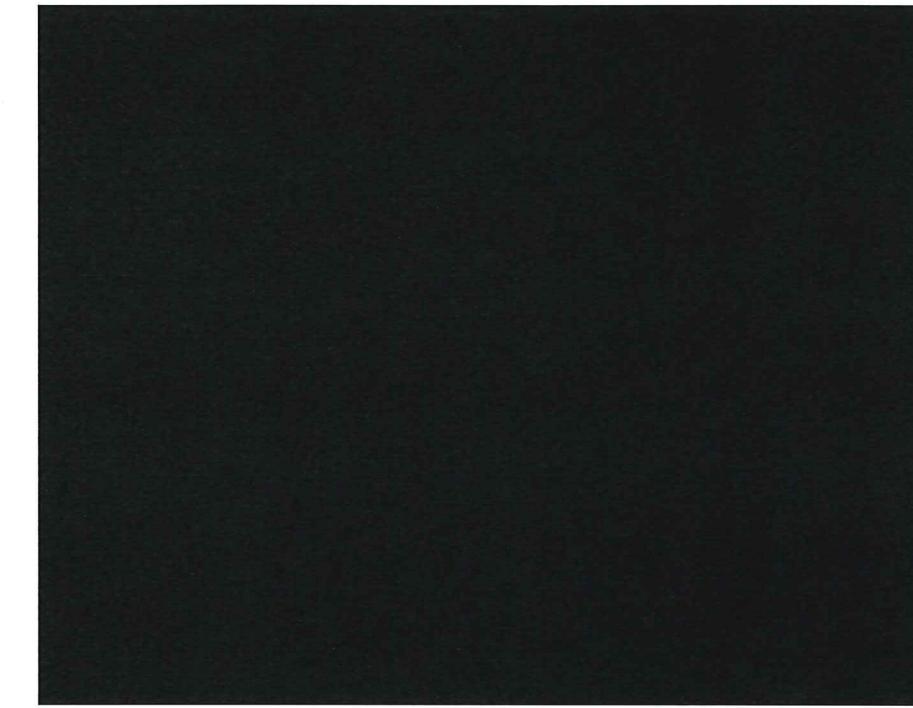
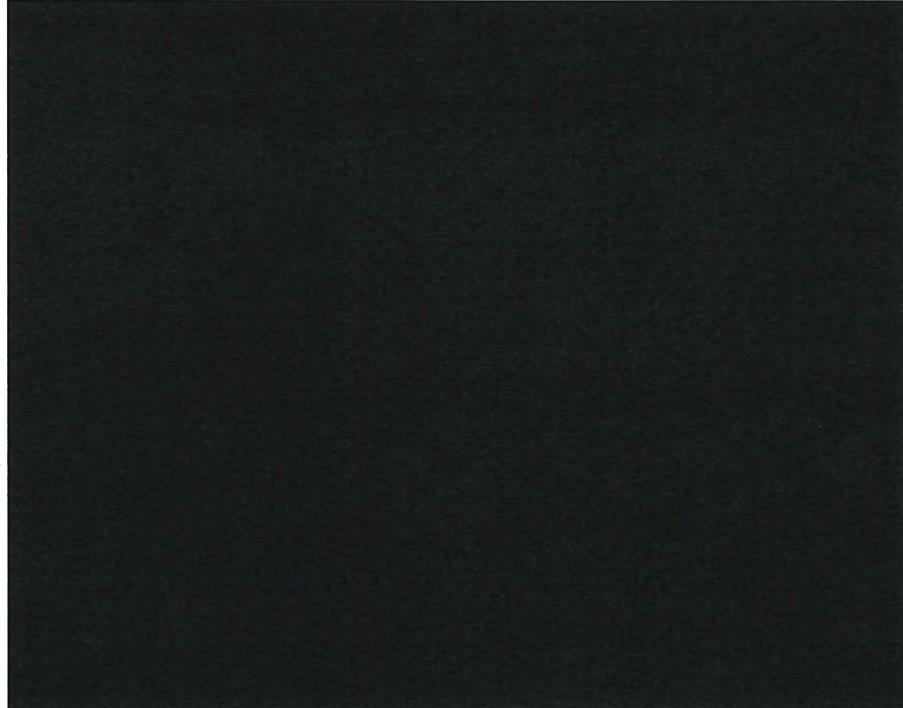
トンピン地区 (①)

活動前

第2施設小隊【7.19 1000現在】

活動中

第2施設小隊【7.19 1200現在】



活動内容

屋根設置

活動成果

トンピン地区 (②)

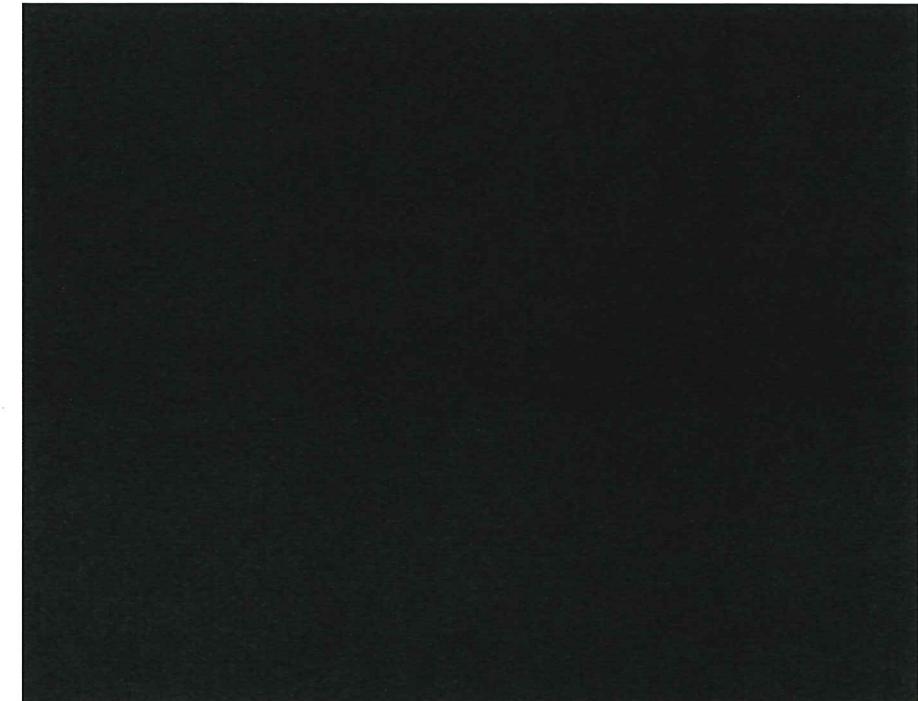
活動前

第2施設小隊【7.19 0800現在】



活動中

第2施設小隊【7.19 1200現在】



活動成果

ヘスコ構築・設置

2 明日の活動

(1) 活動に及ぼす影響

別紙第3「情勢」

別紙第4「装備品等現況」

別紙第5「患者受診状況」

別紙第6「人員現況」

別紙第7「総括（評価）」

(2) 活動命令

別紙第8「施設活動等実施に関する行動命令」

別紙第9「視察・来隊予定」

別紙第10「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

情 勢 (1 / 7) / Situation

別紙第3-1

凡例 青字：新規
赤字：評価

1 南スーダン全域の情勢

(1) 和平合意履行に関する情報

- ウガンダ大統領は、「南スーダンに対する武器の禁輸措置は、南スーダンに更なる混乱をもたらし、今後の強力な統合軍の基盤となる地方の武装勢力を弱体化させる。」として反対
(18日 Voice of America, Reuters, Radio Tamazuj)
→ UNと真っ向から対立する主張であり、議論は平行線をたどり武器禁輸はなされないものと思料
- 17日、ケニア大統領は、国連事務総長と対談し、UNMISSの増員に関して積極的な議論を実施
(17日 Radio Tamazuj)
- IGAD、AU及び安保理はジュバへの増員に賛成の姿勢を表明し、具体的にはエチオピア、ケニヤ、ルワンダ、スーダン及びウガンダが兵士の支援を表明している。
(18日 Sudan Tribune)
→ 周辺国及び国際機関によるUNMISS増強の動きは着々と進んでおり既定路線化するものと思料

(2) 和平合意不履行に関する情報

- キール大統領の強力な支持母体であり、政府要人も多数所属しているディンカ長老議会は、外国軍の追加派兵を認めない態度を鮮明化させ、「追加派兵は南スーダンに対する宣戦布告かつ侵略行為であるため、南スーダン人は政府とともに蜂起する。」と発言
(18日 Radio Tamazuj)
- 17日、大統領報道官は、「マシャル第1副大統領は、第3勢力による警護を要求しているが、既にUNは12,000の兵士をジュバに展開しているため、そのような要求は受け入れられない。」と発言
(18日 African news)
- 18日、キール大統領は、ケニア大統領によるUNMISS増員の姿勢に対し遺憾の意を示した。これに対し、マシャル第1副大統領は歓迎している模様
(18日 Sudan Tribune)
→ UNMISSの増強は、南スーダン政府との間に新たな緊張状態を生起させつつあるものと思料

情 勢 (2/7) / Situation

別紙第3-2

凡例 青字：新規
赤字：評価

(3) その他入手した主要な情報資料

- ウガンダの外務大臣は、「ジュバでの戦闘において、SPLA-I.O.によりウガンダ人6名が戦車で蹂躪され死亡した。」と非難したが、SPLA-I.O.側報道官は「SPLA-I.O.はヘリでジュバに輸送されたため、戦車を保有していない。」と反論するとともに、ウガンダ軍に対し、前回のクライシスの様にSPLA-I.O.側と敵対しないように要望 (18日 Sudan Tribune)
→ ウガンダ政府はSPLAを擁護するような発言が多いため、今後の動向に注視

1

- 17日、ユニティ州リーア近郊においてSPLAとSPLA-I.O.の間で戦闘が生起し、SPLA-I.O.がSPLAの攻撃を撃退した模様。しかしながら、リーア北部においては政府側と反政府側が共同で議会を立ち上げており、平穏である模様 (18日 [REDACTED] Radio Tamazuj)
→ ジュバでの戦闘により各地域で緊張が高まっており、引き続き注視

2

3

4

5

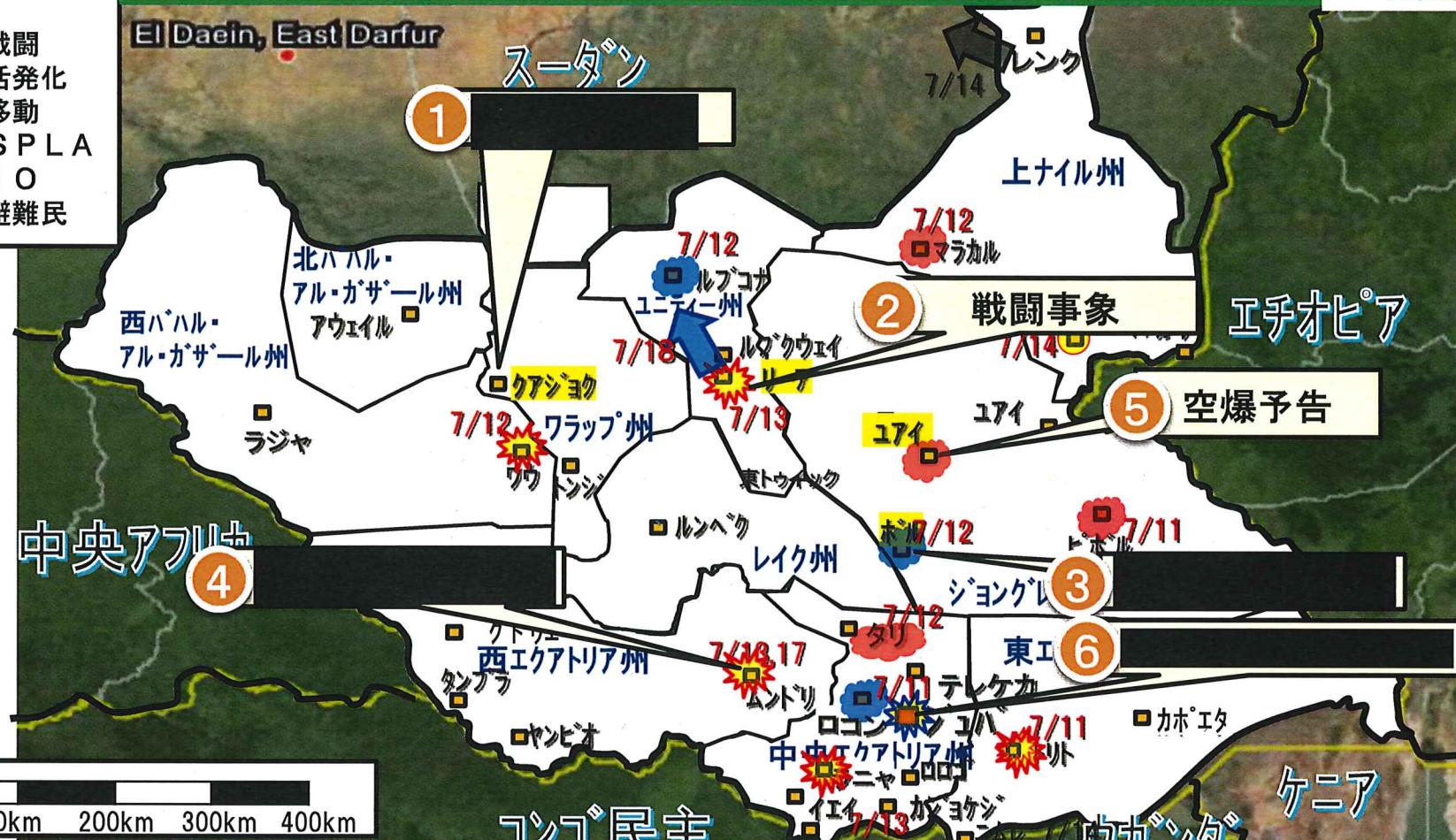
6

- 18日、SPLAはユアイ郡のウロル及びワアットに集合し I.O.を支援すると考えられている3,000名程度のホワイト・アーミー（ロウヌエル族）に対し12時間以内に解散しなければ爆撃をすると警告 (19日 Sudan Tribune)

情勢(3/7) / Situation

凡例

- 戦闘 : 黄色の爆弾マーク
- 活発化 : 白い雲マーク
- 移動 : 左矢印マーク
- SPLA : 青い正方形
- IO : 赤い正方形
- 避難民 : 黒い正方形



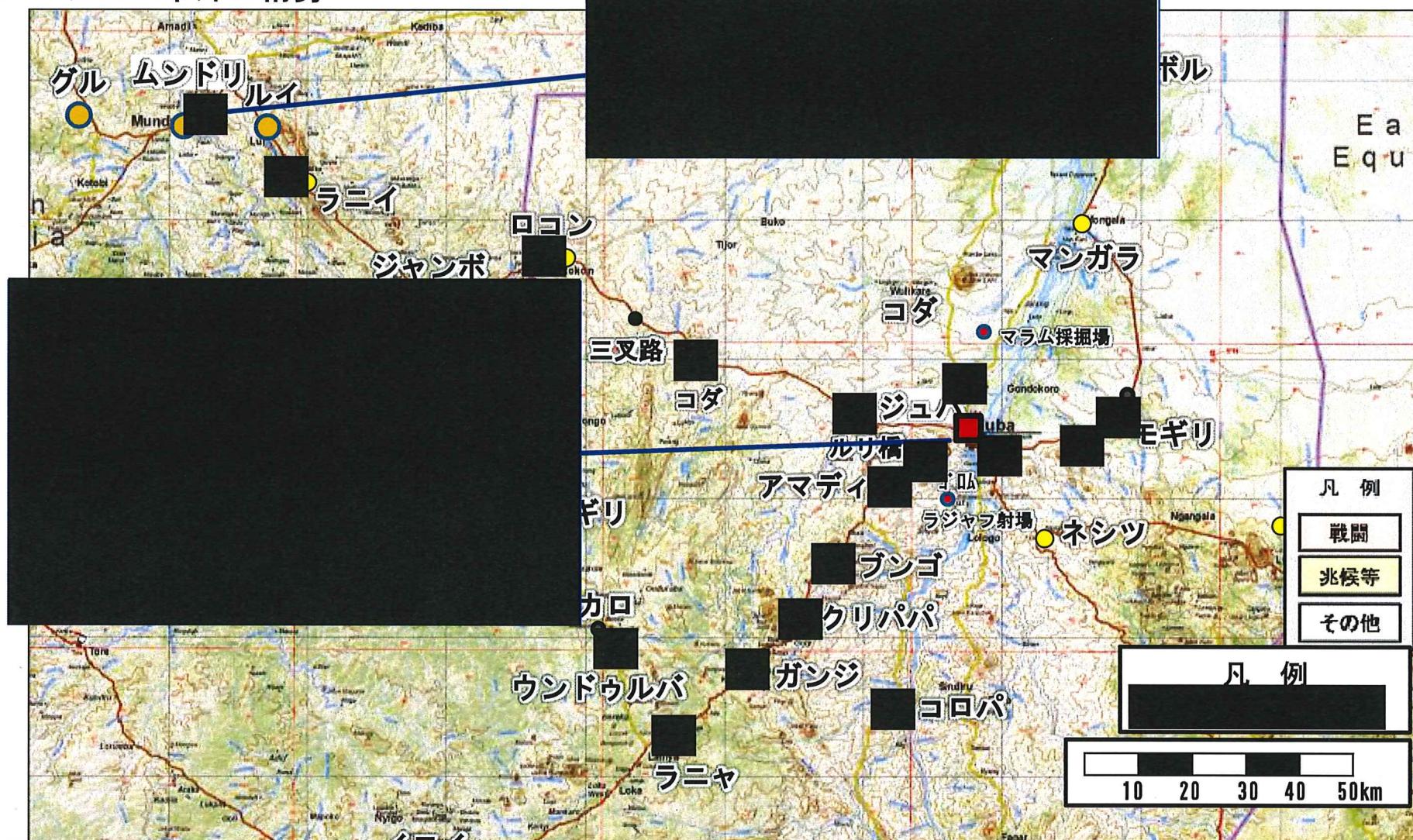
100km 200km 300km 400km

ソルゴ・民主

| | | |
|----|--------|---|
| 評価 | 和平合意 | 11日、キール大統領及びマシャル副大統領による再合意があったものの、和平合意の進捗は進展が乏しく、ジュバにおける両勢力の戦闘により、さらに時間を要するものと思料 また、国際社会及び周辺国からの軍隊の派遣又はUNMISSの増派に対し、南スー丹政府(SPLA)及びディンカ族が強く反対していることから、新たな対立構造を生起させる可能性があり注視が必要 |
| | その他の事象 | 南スー丹のSPLA-IO側勢力圏における活動が活発化しており、SPLAによる動員及び軍事行動も確認できることから、ジュバでの戦闘事象の影響が出始めているものと思料。また、北部及び南部地方において、地元の者と思われる武装集団とSPLA又は暫定政府との間で戦闘が過去に生じており、暫定政府及び新28州制に基づく新州行政機関の治安統治能力は地方においては十分に発揮できていないため、報復又は一般犯罪は継続するものと思料 また、南スー丹全域で食糧不足が発生し、生活苦のため略奪等が多発しているため注視が必要 |

情勢(4/7) / Situation

2 ジュバ市外の情勢



評価

ジュバ市内の戦闘は停戦合意により一応の収束をみせているものの、南部3州におけるSPLAとSPLA-IO及びSPLAと武装集団による抗争、武器を狙う襲撃事案等が生起する可能性があるため、注視が必要

情勢(5/7) / Situation

3 ジュバ市内の状況

- クジュール山周辺では、POCサイトから食糧の買い出しにでたIDPがSPLA兵士による暴行を白昼から日常的に受けている模様
(19日 Sudan Tribune)

→ ジュバ市内におけるSPLAによる暴力は状態化している模様
- 16日頃、2台の給水車がUNキャンプに向か前進中のところ、武装した兵士にカージャックされ車両が奪われた模様
(18日 Radio Tamazuj)
- 19日、UNの兵員増加に対する抗議デモがフリーダムスクエアを起点として実施される予定であったが、雨により延期された模様
- 19日のSPLA車両の移動
北進: 115
南進: 125
(19日 警衛)

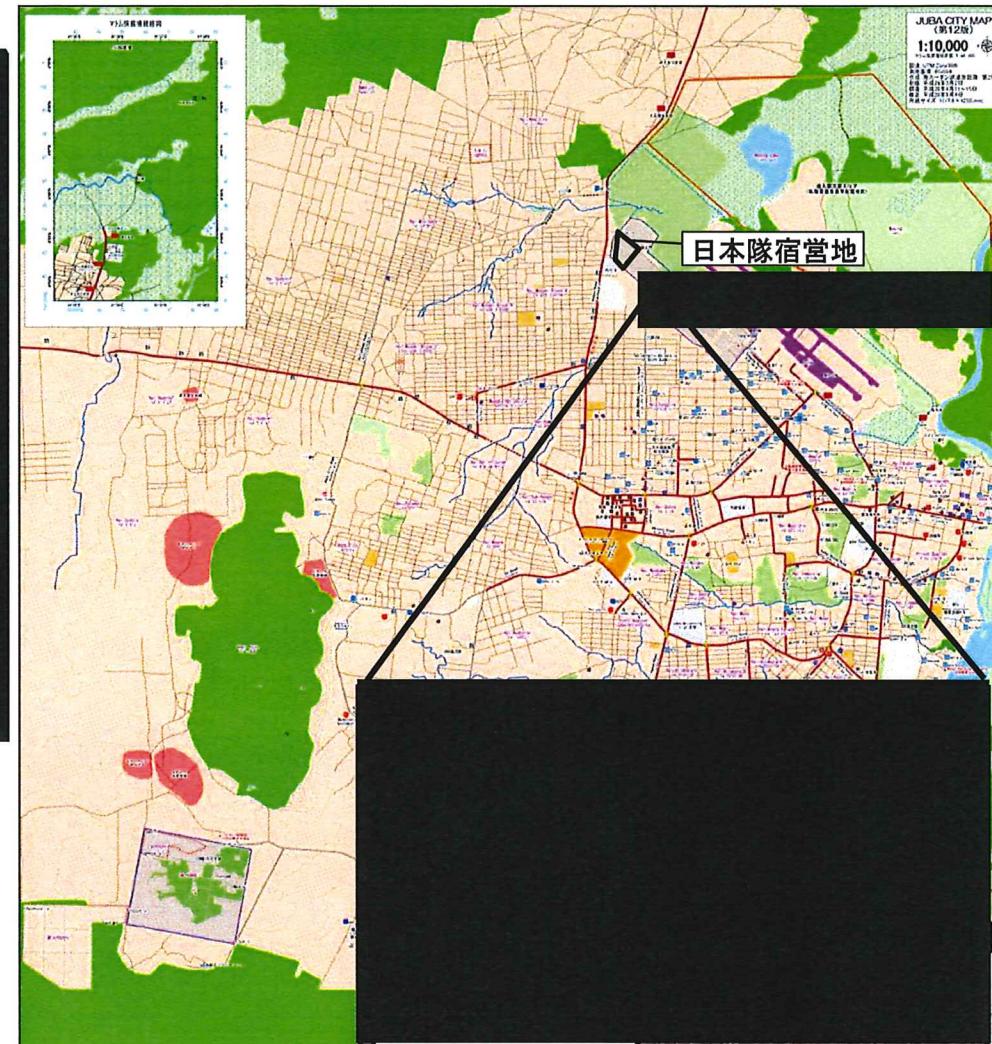
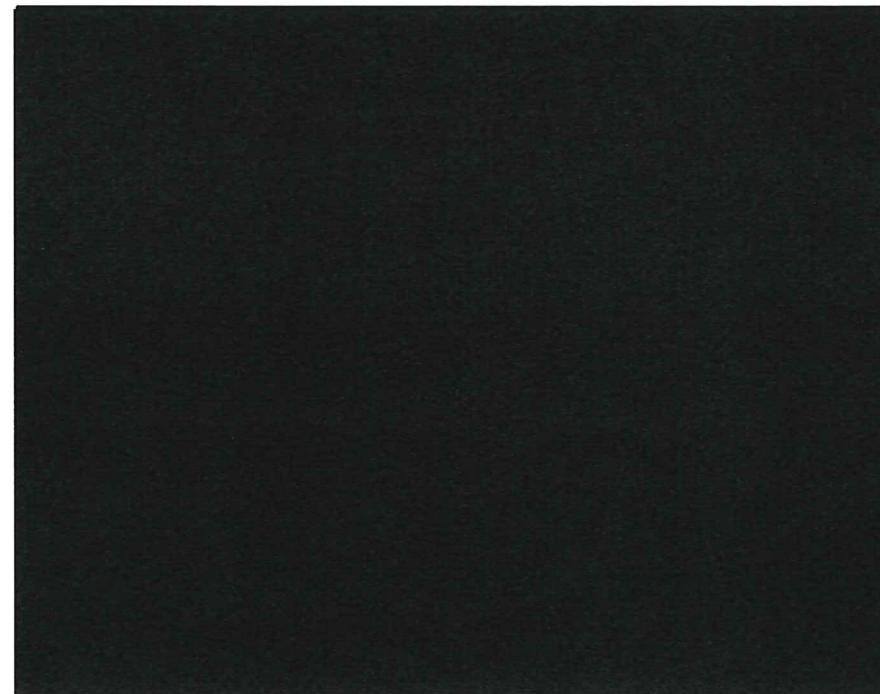
→ 傾向的に0800～1100は北進車両が多く、1200～1500は南進車両が多い、1日の通算はほぼ同数となる模様



| | |
|----|--|
| 評価 | <p>市内は一部平穏な状態に戻りつつあるものの、外国人による商店の閉鎖による物資の減少等、市民の生活は厳しく犯罪等は発生しやすい状態であり、SPLAによる略奪、暴行等の犯罪も常態化していることから市内での活動には注意が必要であるとともにSPLAによる犯罪の対象となるIDPの動向にも注視が必要 また、ジュバ市内において外国軍隊の増派反対デモが実施される可能性があり、その内容及び動向にも注視が必要 加えて、市内で疾病（コレラ、マラリア）が発生しており注意が必要</p> |
|----|--|

情勢(6/7) / Situation

4 UNトンピン内IDPの状況



| | |
|----|--|
| 評価 | IDPの保護は長期化する可能性があるとともに、[REDACTED]等が発生する可能性があり注意が必要。また、水や食糧等の不足から、これらを目的とした宿营地内への进入等には注意を要する。 加えて、IDP同士の小競合いが発生する可能性もあり、近傍での作業は注意が必要 |
|----|--|

情勢(7/7) / Situation

4 気象(0600i)

| 地域 | 天気 | 気温 | | 湿度 | | 降水量 | 備考 |
|------|----|------|------|-----|-----|------|----|
| | | 最低 | 最高 | 最低 | 最高 | | |
| ジュバ | 雨 | 22°C | 29°C | 53% | 70% | 30mm | |
| カンバラ | 晴れ | 21°C | 26°C | 53% | 74% | 0mm | |

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第4-1

7月19日1600c

| 区分 | 可動率 | 状況 | 処置 |
|----|------|--|---|
| 火器 | 100% | なし | |
| 車両 | 100% | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高機動車のボンネット損傷 (自走可能) | <input checked="" type="radio"/> [REDACTED] (8月下旬整備完了予定) |
| 施設 | 98% | <ul style="list-style-type: none"> ○ モータグレーダの油圧バルブ作動 油不足のため、不可動 | <input checked="" type="radio"/> [REDACTED] (8月上旬整備完了予定) |
| 通信 | 100% | なし | |
| 需品 | 100% | なし | |
| 衛生 | 100% | なし | |

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第4-2

7月19日1600c

| 区分 | 品名 | 総数 | 取得 | 返納 | 保管 |
|-----|---------------|----|----|----|----|
| 弾薬 | BL 9mm普通弾 | | | | |
| | 5.56mm普通弾 | | | | |
| | 5.56mmリンク | | | | |
| | TR 9mm普通弾 | | | | |
| | 5.56mm普通弾 | | | | |
| | 5.56mmリンク | | | | |
| 計 | | | | | |
| 打ち殻 | 9mm打がら薬きょう | | | | |
| | 5.56mm打がら薬きょう | | | | |
| | 計 | | | | |

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第4-3

7月19日1600c

| 区分 | 品名 | 取得 | 消費 | 現保有量 | 維持日数 | 備考（処置） |
|-----|-------------|-------------------------|----|------|------|--------|
| 糧 食 | 個人糧食 | 戦闘糧食Ⅱ型 | | | | |
| | | 市販型 | | | | |
| | | アルファ米 | | | | |
| | | UN非常用糧食 (賞味期限2018.8) | | | | |
| | 耐久品 | 米 | | | | |
| | | 副食パック | | | | |
| | UN食材 | 冷凍・耐久 | | | | |
| | | 生鮮 | | | | |
| | 現地調達 | 生鮮 | | | | |
| | | 冷凍 | | | | |
| 燃 料 | 軽油(調達品) | | | | | |
| | 軽油(UN) | | | | | |
| | 灯油(調達品) | | | | | |
| | ガソリン(調達品) | | | | | |
| 水 | 飲料水 | | | | | |
| | 海水淡水化装置(浄水) | | | | | |

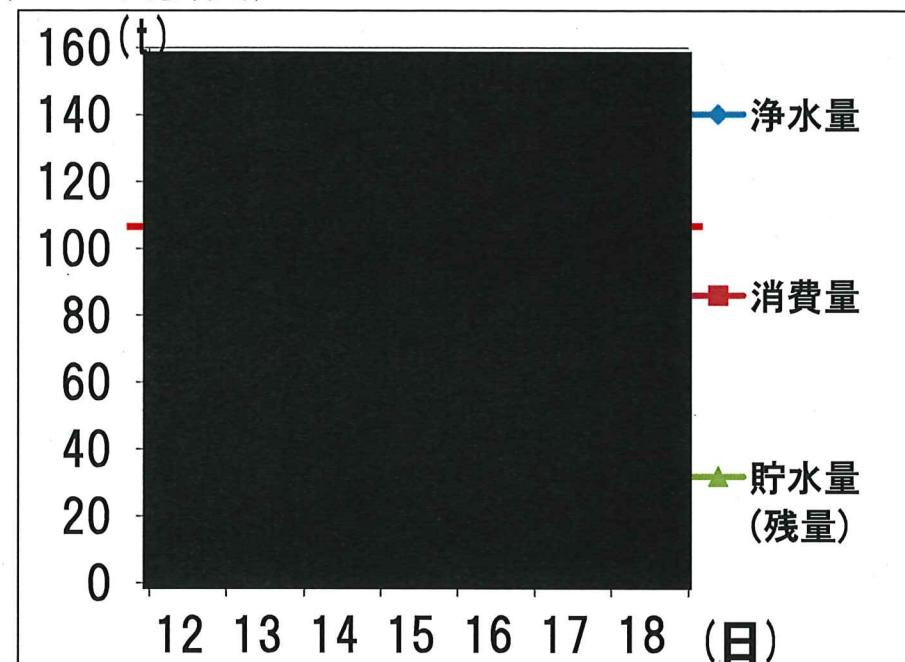
第10種補給品（水）の推移（1週間実績）

7月19日1300c

【H28.7】(10次要員)

凡例 — 消費量の目安ライン

| 曜 日 | 淨水量 | 消費量 | 貯水量 (残量) |
|--------|-----|-----|-------------|
| 火 12 | | | |
| 水 13 | | | |
| 木 14 | | | |
| 金 15 | | | |
| 土 16 | | | |
| 日 17 | | | |
| 月 18 | | | |



| 他国供給先（前日実績） | | 供給量 |
|-------------|-----------|-----|
| タスク | トランジット | 1 |
| タスク外 | ネパールF P U | 2 |
| | ネパール歩兵中隊 | |
| | エチオピア大隊 | |
| | バングラ河川隊 | |
| | インド隊 | 5 |
| | 合 計 | 8 |

【評価】

消費量は [] 未満であり問題ないが、継続的な節水は必要である

※ 貯水の危険水位:

(注)現在の井戸からの取水に問題がなく、日々の消費量が [] を超える日が [] で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。

患者受診状況

受診患者計

6名

7月 18日 1800c
~7月 19日 1800c

| 所属等／Section | 傷病者数 | 疾患名／Disease | 備考 |
|-------------|------|-------------|----|
| 隊本部 | 1名 | | |
| 施設器材小隊 | 1名 | | |
| 第2施設小隊 | 1名 | | |
| 第3施設小隊 | 1名 | | |
| 警備小隊 | 1名 | | |
| 情報班 | 1名 | | |

予防接収

1名

予防接種

○ コレラワクチン1名（事務官）

凡例： (再) → 再 診

7月19日1800c

人員現況／Personnel Status

| | 場 所 | 総員 (名) | 事故 (名) | 現在員 (名) | 事故の内訳 (名) | 備 考 |
|--------|-----------------|-----------|-----------|------------|--------------|--|
| 第10次要員 | | 353 | 0 | 353 | | |
| 司令部幕僚 | ジュバ (UNトンピン) | 4 | 0 | 4 | | 司令部幕僚4名 宿營地待機 |
| 日本大使館 | | 5 | 0 | 5 | | 日本大使以下5名 (日本大使以下 大使館員4名及び 現地雇用Dr) |

宿營地待機人員

| 区 分 | 人員数 | |
|------|-----|--|
| 待機人員 | | |

総括(Assessment)

| 項目 | 事象 | 評価 | 運用への反映 | |
|-----|---|---|------------------------------------|----------|
| 情勢 | 1 ジュバ市街地におけるハラスマントの発生(7/12, 14) 2 IDPとの小競合い(7/14) 3 UNハウス周辺において、射撃事案が発生(7/2, 8, 9, 10, 11, 12, 16) 4 ワウにおける戦闘(7/12) 5 リア郡におけるSPLAとSPLA-IOの抗争(6/26, 7/12, 13) 6 南部3州及びジョングレイ州におけるSPLA及びSPLA-IOの積極的な活動(7/13, 14, 15) 7 [REDACTED](7/16) 8 UNPOLによる第1POCサイトの検索(7/16) 9 ルワンダ大隊IDPの路上への氾濫(7/16) 10 保健省によるコレラ警報及びマラリアの発生(7/18) 11 ジュバ市内でのデモの実施予定(7/19：延期) | ジュバ市街においては、停戦合意は履行されているものの、偶発的な戦闘の可能性及び今後ジュバ市周辺における戦闘の再発の可能性は否定できず、巻き込まれに注意が必要である。 市内における略奪等も発生しており注意が必要である。 また、UNハウス及びUNトンピンへの避難民の流入、周辺での抗争等への巻き込まれ及びSPLAによるIDPに対する攻撃等に注意が必要である。 | 情報収集を継続 | |
| 基盤上 | 兵站 | 1 グレーダコントロールバルブ付近の油圧ホース破損 2 高機動車のボンネット損傷 | 1 グレーダを必要とする作業に直接影響を受ける。 2 自走可能 | 現運用上支障なし |
| | 衛生 | 受診患者 6名 | 活動に影響なし | 活動に影響なし |
| | 人事 | 1 第10次要員 353名 2 UNMISS司令部幕僚 4名 3 日本大使館 大使以下 5名 | 活動に影響なし | 活動に影響なし |

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する行動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

7月20日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊行動命令

1 情勢報告参照

2(1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動として、UNトンピン内 [REDACTED] 及びIDPトランジット構築を実施する。また、人道支援実施のための環境作りとして、UNトンピン内の給水活動を実施する。
を実施する。

(2) ア 活動警備レベル (UNトンピン内)

- (ア) 警備小隊 レベル [REDACTED]
- (イ) 活動部隊 レベル [REDACTED]
- イ 宿営地警備 [REDACTED]

3(1) EqPt (施設器材小隊)

IDPトランジット構築及びUNトンピン地区 [REDACTED] に伴う資材受領、運搬及び機力支援

(2) 1EqPt (第1施設小隊)

ア 長を含む12名を土嚢作成班に、長を含む9名を屋根構築班に差出
イ Pt (-)
UNトンピン地区 [REDACTED]

(3) 2EqPt (第2施設小隊)

ア 12名を土嚢作成班に、9名を屋根構築班に差出
イ Pt (-)
UNトンピン地区 [REDACTED]

(4) 3 E P t (第3施設小隊)

ア 13名を土嚢作成班に差出

イ Pt (-)

UNトンピン地区 [REDACTED]

(5) Sec Pt (警備小隊)

宿営地警備、UNトンピン内同行警備及び [REDACTED]

(6) HQU (本部付隊)

宿営地維持・管理活動、UNトンピン内給水活動及び [REDACTED]

(7) MISec (情報班)

情報収集

(8) Guard Sec (警護班)

状況により日本大使警護、隊長警護

(9) MP Sec (警務班)

[REDACTED]

(10) 土嚢作成班

+ 12名/1 E P t、12名/2 E P t、13名/3 E P t

ア 長 第1施設小隊長が指名する者

イ UNトンピン地区 [REDACTED] に伴う土嚢の作成

(11) 屋根構築班

+ 9名/1 E P t、9名/2 E P t

ア 長 第1施設小隊長が指名する者

イ UNトンピン地区 [REDACTED] に伴う屋根の構築

4 本職不在間は、副隊長が指揮

活動概要 (UNトンピン地区) (1/4)

| 番号 | 区分 | 任務 | 部隊 | 時間 | 場所 | 人員 | 車両 | 警備 |
|----|-----|---------------------------------|-------------------|---------------|---------|----|---------------------------------|----|
| ① | 施設 | IDPトランジット構築 | 器材小隊 | 0830~ 1630 | UNトンピン | 2 | クレーン×1 | |
| ② | | トンピン地区 [REDACTED] (機力支援) | 器材小隊 | 0830~ 1630 | | 17 | 高機×1、油圧×2 バケット×1 特大型ダンプ×3 | |
| ③ | | トンピン地区 [REDACTED] (資材受領及び運搬) | | | | 12 | 中型×1、大型×1 | |
| ④ | | トンピン地区 [REDACTED] | 1小隊 | 0800~ 1630 | | 15 | 高機×1、中型×1 | |
| ⑤ | | トンピン地区 [REDACTED] | 2小隊 | 0800~ 1600 | | 10 | 高機×1、中型×1 | |
| ⑥ | | トンピン地区 [REDACTED] | 3小隊 | 0800~ 1630 | | 11 | 大型×1、小型×1 | |
| ⑦ | | トンピン地区 [REDACTED] (土嚢作成) | 1小隊 2小隊 3小隊 | 0800~ 1630 | | 37 | 大型×2、中型×1 資材運搬車×1 | |
| ⑧ | | トンピン地区 [REDACTED] (屋根構築) | 1小隊 2小隊 | 0800~ 1630 | | 18 | 大型×2 | |
| ⑨ | その他 | 給水 | 補給班 | 0800~ 1000 | トランジット | 2 | 給水車×1 | |
| ⑩ | 情報 | 情報収集 | 情報班 | | | | | |
| ⑪ | その他 | 司令部幕僚送迎 | 隊本部 (S-3) | 0650~ 1900 | セクターサウス | 5 | 高機×1 | |
| ⑫ | | 業務調整(連絡) | 隊本部 (S-3) | 0820~ 1600 | | 2 | 高機×1 | |
| ⑬ | | 巡回指導 | 隊本部 (S-3) | 別示 | UNトンピン | 3 | | |
| ⑭ | | 業務調整(兵站) | 隊本部 (S-4) | 1330~ 1630 | | 4 | 小型×1 | |
| ⑮ | | 広報活動 | 隊本部 (広報) | 0800~ 1700 | | 2 | 小型×1 | |
| ⑯ | | 臨時工兵課タスク | 別示 | 別示 | | | | |

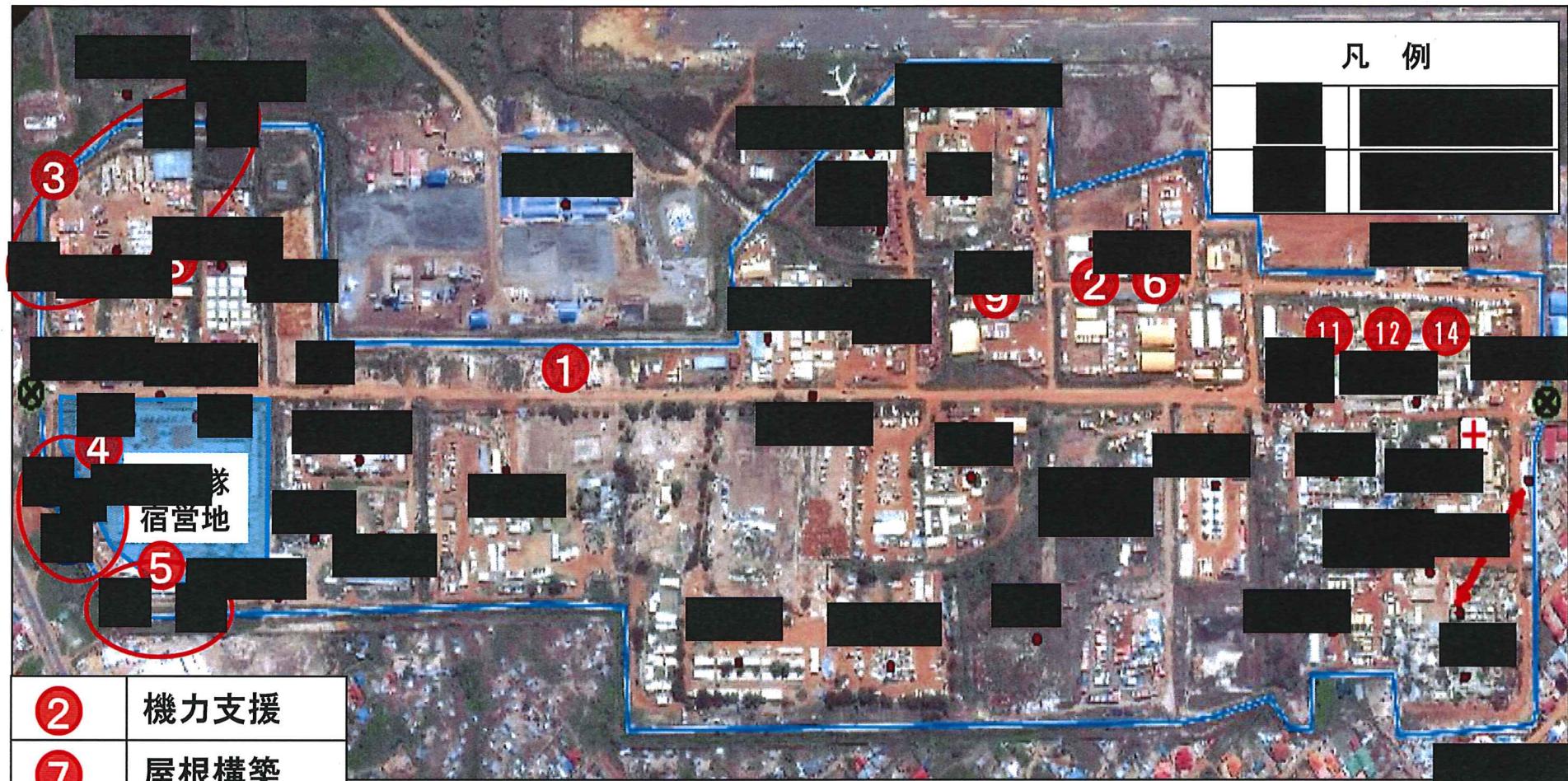
凡例



UNタスク

活動概要 (UNトンピン地区) (2/4)

別紙第8-4



| | |
|---|-------|
| ② | 機力支援 |
| ⑦ | 屋根構築 |
| ⑩ | 情報収集 |
| ⑬ | 巡回指導 |
| ⑮ | 広報活動 |
| ⑯ | 臨時タスク |

活動概要（UNハウス地区）（3／4）

別紙第8-5

UNハウス活動部隊なし

活動概要（ジュバ市内）（4／4）

別紙第8-6

UNハウス活動部隊なし

視察・来隊等予定 (Schedules of visitors)

| 時 間 | 視察・来隊者 | 備 考 |
|------------------|--------|-----|
| | | |
| 視察・来隊者等なし | | |
| | | |

隊長、副隊長の行動予定 (CO/ DCO Schedule)

別紙第10-1

| | AM | PM | 課業外 |
|-----|----|----|-----|
| 隊 長 | | | |
| 副隊長 | | | |

最先任上級曹長の行動予定 (CSM Schedule)

別紙第10-2

| | AM | PM | 課業外 |
|-----------------|----|----|-----|
| 最先任 上級 曹長 | | | |

3 じ後の予定

別紙第11「業務予定」

赤字：変化事項

7月間業務予定

別紙第11-1

赤字：変化事項
青字：隊長関連

週間業務予定 (7/17~7/23) 第32週

別紙第11-2

| 日 | 7/17 | 7/18 | 7/19 | 7/20 | 7/21 | 7/22 | 7/23 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 曜日 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 全般 | | | | | | | |
| 0700 | | | | | | | |
| 0800 | | | | | | | |
| 0900 | | | | | | | |
| 1000 | | | | | | | |
| 1100 | | | | | | | |
| 1200 | | | | | | | |
| 1300 | | | | | | | |
| 1400 | | | | | | | |
| 1500 | | | | | | | |
| 1600 | | | | | | | |
| 1700 | | | | | | | |
| 1800以降 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

| 連番 | 区分 | 案件名 | ニーズ元 | 現 状 | 調整先 | 調整状況・備考等 | 評価 |
|----|-----------------|---|----------------|---|----------------|--|----|
| 1 | ODA-PKO 連携案件 | 職業訓練「#4さくらPJ」 | MTC | ● #1担当会同(6/21)を実施し、情報を収集完了 ● 7月8日1000より予定していたMTC・JICAとの#2会同は延期 | MTC JICA | ● MTC側で隊の能力と先方ニーズとの合致状況の確認中 ● じ後、訓練対象・時期等を検討し、大綱仰指予定 | |
| 2 | | ジュバ河川港起工式における文化紹介支援 | JICA | 時期・内容未確定 | JICA | 8月下旬～9月上旬予定 情報収集中 | |
| 3 | | CAMPプロジェクトローンチングイベントにおける文化紹介支援 | JICA | PJに対する南ス政府の承認待ちで時期・内容未定 | JICA | 情報収集中 | |
| 4 | | リオ五輪南ス選手壮行会における文化紹介支援 | JICA | 時期・内容(実施の有無含む) 未定 | JICA | 中止 | |
| 5 | 国際機関等 連携案件 | UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼) | UNOPS (大使館) | ● 工兵課からタスク発出済み | UNOPS (大使館) | ● UNOPSは、ボルで新たなサンプルを採取するため準備中。計画出来次第連絡予定 ● 調査は、先方がサンプルを宿營地に持ち込み(1日程度) | |

※1 Comprehensive Agriculture Master Plan : 包括的農業マスター プラン

※2 UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

凡 例 ◎： タスク化成立 ○： 自隊による実施 ×： 実行の可能性低 —： 調整中

2 終了案件

| 連番 | 区分 | 案件名 | ニーズ元 | 概 要 | 実施時期 |
|----|-----------------|-----|------|-----|------|
| | ODA-PKO 連携案件 | なし | | | |
| | 国際機関等 連携案件 | なし | | | |

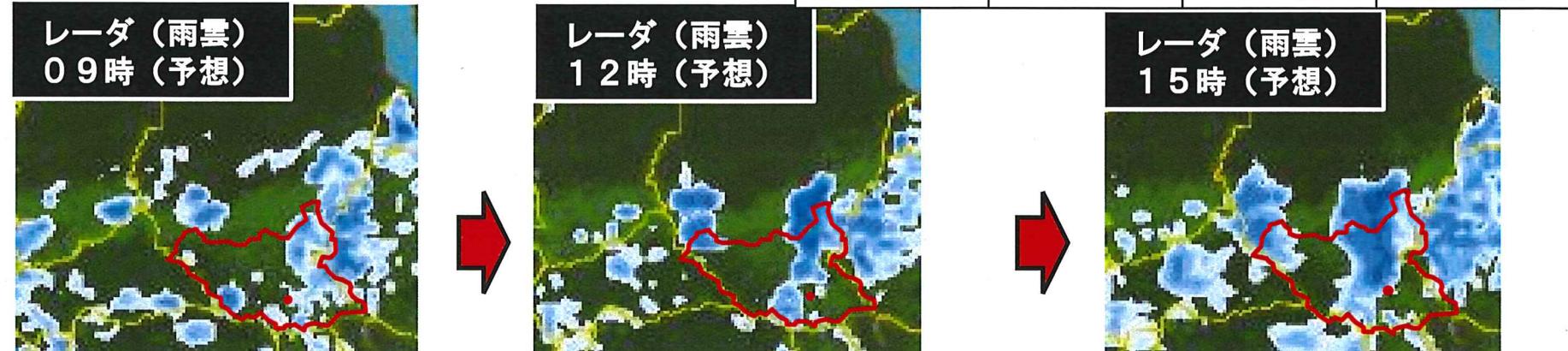
5 參考資料

気象 (19~20日) ジュバ / Weather JUBA

最高気温 (1400
まで反映)

本日の降雨時の時間雨量 5 ~ 8 mm/h

| 気温(直射) | 気温(日陰) | 湿度 | 総雨量 |
|--------|--------|-----|------|
| 29°C | 26 | 60% | 30mm |



| 日(曜) Date | 19日 (火) | | | | 20日 (水) | | | | | | | |
|-----------|---------------|-------|-----|-----|---------|------|-------|-------|-----|--|--|--|
| 時 Hrs | 18~21 | 21~24 | 0~3 | 3~6 | 6~9 | 9~12 | 12~15 | 15~18 | | | | |
| 主要な活動 | | | | | UNの基盤整備 | | | | | | | |
| Juba | 天 气 | | | | | | | | | | | |
| | 気温 (°C) | 24 | 23 | 22 | 22 | 23 | 27 | 28 | 26 | | | |
| | 降水確率 | 20% | 20% | 0% | 0% | 30% | 40% | 30% | 40% | | | |
| | 雨量 | 0mm | 0mm | 0mm | 0mm | 0mm | 1mm | 0mm | | | | |
| | 風向 | 北北西 | 北西 | 南西 | 南 | 南 | 東南東 | 南東 | 北西 | | | |
| | 風速 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | 評価 Assessment | 施設活動 | | | | | | | | | | |
| | 行 事 | | | | | | | | | | | |

凡例 影響度： 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源：WEATHER UNDERGROUND

気象(週間) ジュバ／Weekly Weather JUBA

| 日(曜) | 21日(木) | 22日(金) | 23日(土) | 24日(日) | 25日(月) |
|---------|--|---|---|---|---|
| 主要な活動 | | | | | UNの基盤整備 |
| Juba | 天気  |  |  |  |  |
| | 気温(°C) 29/21 | 31/21 | 28/21 | 28/21 | 29/21 |
| | 降水確率 40% | 60% | 50% | 80% | 40% |
| | 雨量 1 mm | 3 mm | 2 mm | 7 mm | 2 mm |
| | 評価 | | | | |
| Kampala | 天気  |  |  |  |  |
| | 気温(°C) 27/19 | 26/19 | 26/19 | 26/19 | 26/19 |
| | 降水確率 0% | 50% | 50% | 20% | 40% |
| | 雨量 0 mm | 1 mm | 2 mm | 0 mm | 0 mm |
| | 評価 | | | | |

凡例 影響度： 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源：WEATHER UNDERGROUND

| | |
|------------------|---|
| 評価 Assessment | 1 ジュバについては、17日は降雨が予想されるため、屋外での活動に一時的に制限を受ける可能性 2 ウガンダは、天候が安定しない見込み。突然の雷雨等には注意が必要 |
|------------------|---|

和平合意の履行状況／Process of Peace Agreement

| 区分 | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 |
|-------------|---------------|---------------|-------------------------|----------------------|-----------------------------|-------------------|
| 全般 | 8.26 | | | 26 27 | 22 | 12 22 |
| 軍 和平合意署名 | 停 戰 | | 27 兵力引き離し | — 移動申告 | | |
| | 外 国 軍 撤 退 | | 12 撤退完了 | 20 移動開始 | 30 撤退完了 | |
| | ジ ュ バ 非 武 装 化 | | 27 24. 開始 移転先選定中 | | 23. 終了 一部移転 (2班 250名) | |
| | 統 合 | 即時 開始 | | 26 部隊勢力 配分決定 | | |
| | 国 会 議 会 の 拡 大 | | | 23 追加議員 配分 | 26 定数拡大完了 | 5 追加議員 提出 |
| | 権 力 配 分 | | | | | 23 ポスト 配分会議 |
| | 選 挑 | | 7ヵ月以内 選挙委員会再構成 | | | 7 ポスト 配分決定 |
| | 憲 法 修 正 | 即時 憲法委員会組織 | 18 修正案起草 | 修正案採択 | 6 大統領署名 修正委員 議長指名 | |

和平合意の履行状況／Process of Peace Agreement

| 区分 | 4月 | | | | | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | | 8月 | | 9月 | | 評価 |
|----|----------|--------------------|----------------|-----------------------|-----------|----------|---------|--------|--------|--------|--------|-----------------|-----------------|---------------|----|----|--|----|
| 全般 | | 21 | 25 | 26 | 29 | 29 | 29 | | 31 | | 23 | 8 | 11 | 16 | 18 | 25 | | |
| 軍 | 停戦 | i.Oの一部ジuba帰還(1~10) | マシヤル氏参謀長ジuba帰還 | 多賀閣僚の任命 | 第1回暫定政府樹立 | 暫定政府運営開始 | JMEC会議 | 議会運営開始 | JMEC会議 | JMEC会議 | JMEC会議 | 17.0.2.2治安部統一完成 | UNMISSに関する安保理決議 | 国家立法議会の拡大及び任命 | | | | |
| | 外国軍撤退 | 多賀閣僚の決定 | マシヤル氏ジuba帰還 | ジuba市内におけるSPLAとi.Oの衝突 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ジuba非武装化 | ジubaの決定 | ジubaの決定 | ジubaの決定 | ジubaの決定 | ジubaの決定 | | | | | | | | | | | | |
| | 統合 | 10・21 | JMEC会議 | 閣僚の任命 | 暫定政府樹立 | 運営開始 | | | | | | | | | | | | |
| | 国会議会の拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 権力配分 | | 大臣指名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 選挙 | | 選挙委員会選定 | | | | 選挙委員会構成 | | | | | | | | | | | |
| | 憲法修正 | | 憲法修正案提出 | | | | 修正案採択 | 大統領署名 | 憲法発布 | | | | | | | | | |

凡例 赤字:変化事項

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8

2016.7

2018

安定

和平
合意

合意履行状況

暫定
政府

不安定要素

ジュバ
戦闘政府
樹立

不安定

我に及ぼす影響

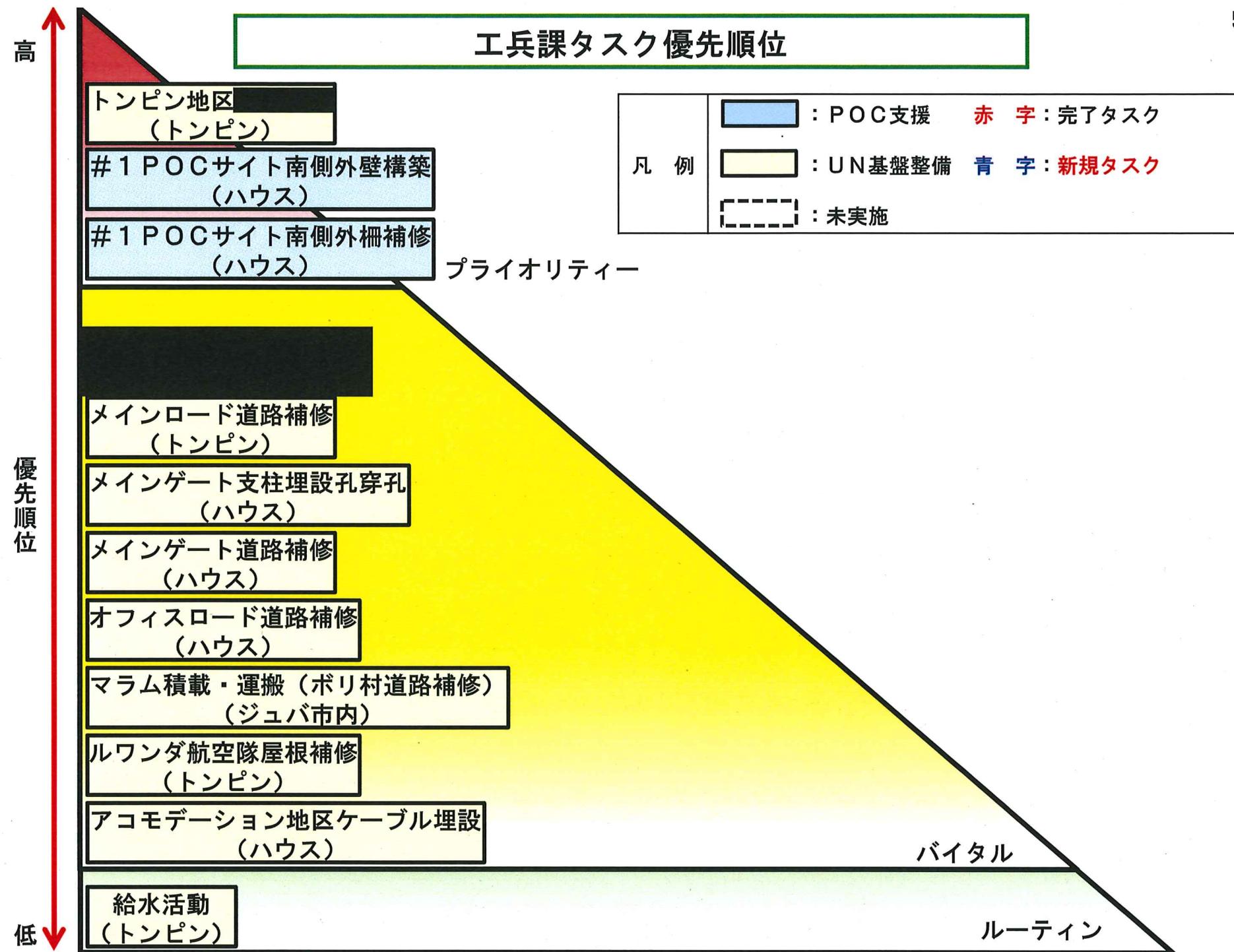
関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うUN活動の停止
- 武力衝突・[REDACTED]に伴う、活動の制限による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のIDPの発生
- チェックポイント警戒強化(我の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うUNマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- SPLAと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

工兵課タスク優先順位



新規タスク一覧

| 新規タスク | |
|-------|-------------------------------------|
| タスク名 | IDPトランジット構築 |
| 意義 | UNトンピン地区の活動基盤の向上 |
| 目的 | IDPトランジットを構築して、IDPのPOCサイトへの円滑な輸送に寄与 |
| 内容 | クレーンによるコンテナ揚重 |
| 区分・期間 | バイタル・3日間 |

7月19日タスク等現況 (1/2)

凡 例 : POC支援 : UN基盤整備

1 実施中

| タスク No | 活動区分 | 優先 順位 | 作業名 | 作業場所 | 作業内容 | 本日現在の 進捗状況 | 開始 時期 | 終了 時期 | 昼食の 形態 | 備 考 |
|-----------|------------|----------|----------------------|--------|---------------|---------------|----------|----------|-----------|--------------|
| 463 | UN 基盤整備 | 1 | トンピン地区 [REDACTED] | UNトンピン | ヘスコ構築 屋根構築 | 実施 計画 | | | | |
| 391 | POC 支援 | 2 | #1 POCサイト南側 外壁構築 | UNハウス | ミフラム構築 | 実施 計画 | | | | |
| 444 | POC 支援 | 3 | #1 POCサイト南側 外柵補修 | UNハウス | ヘスコ補修 | 実施 計画 | | | | 工兵課の指示 待ち |
| 462 | UN 基盤整備 | 4 | テストコース地区外柵 構築 | UNトンピン | 蛇腹設置 | 実施 計画 | | | | |
| 397 | UN 基盤整備 | 5 | メインゲート 支柱埋設孔穿孔 | UNハウス | 埋設孔穿孔 | 実施 計画 | | | | 工兵課の指示 待ち |
| 460 | UN 基盤整備 | 6 | メインロード道路補修 | UNトンピン | 道路補修 | 実施 計画 | | | | |
| 398 | UN 基盤整備 | 7 | メインゲート道路補修 | UNハウス | RCによる 道路補修 | 実施 計画 | | | | |
| 455 | UN 基盤整備 | 8 | オフィスロード道路 補修 | UNハウス | 道路補修 | 実施 計画 | | | | |
| 351 | UN 基盤整備 | 9 | マラム積載・運搬 | ジュバ市内 | マラム積載・ 運搬 | 実施累計 計画累計 | | | | 工兵課の指示 待ち |
| | | | ボリ村道路補修 | ジュバ市内 | 道路補修 | 実施 計画 | | | | 工兵課の指示 待ち |
| 456 | UN 基盤整備 | 10 | ルワンダ航空隊屋根 補修 | UNトンピン | 屋根補修 | 実施 計画 | | | | |
| 333 | UN 基盤整備 | 11 | アコモデーション地区 ケーブル埋設 | UNハウス | 埋設溝 掘開・埋設 | 実施 計画 | | | | 工兵課の指示 待ち |
| 325 | UN 基盤整備 | 12 | 給水活動 | UNトンピン | 給 水 | | | | | |

7月19日タスク等現況（2/2）

| | | | | |
|-----|--|---|---|--|
| | : POC支援 | : インフラ整備 | : UN基盤整備 | : 国際機関等連携案件 |
| 凡 例 | 未調整：工兵課と調整していないもの | | | |
| | 調整中：工兵課と調整中（実施の可否含む。）のもの | | | |
| | 調整済：工兵課と調整が終わったもの | | | |
| | 保 留：工兵課により保留とされているもの | | | |

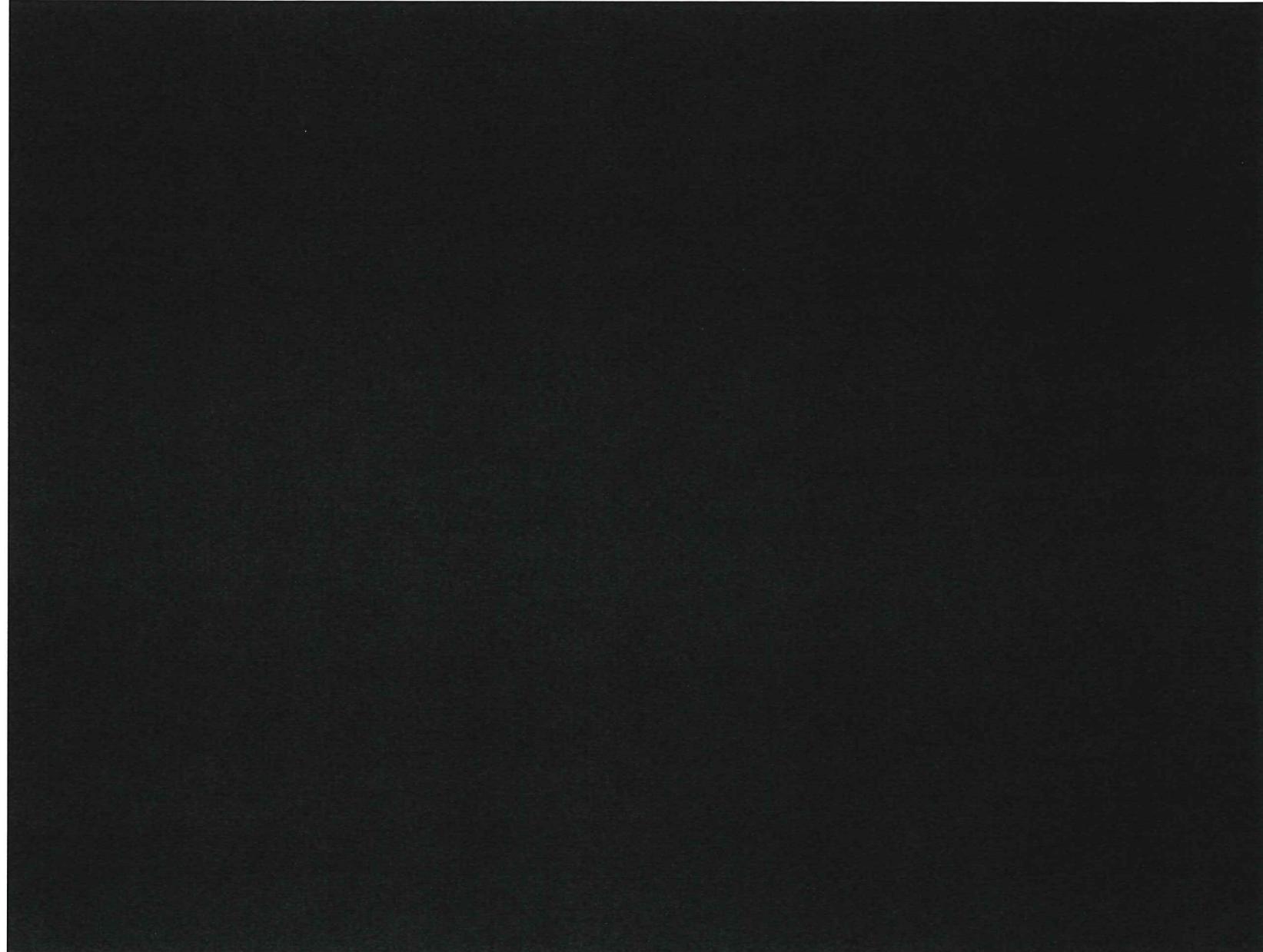
2 未実施

| タスク No | 活動区分 | 優先 順位 | 作業名 | 作業場所 | 作業内容 | 本日現在の 進捗状況 | 開始 時期 | 終了 時期 | 昼食の 形態 | 備 考 |
|-----------|-----------|----------|-----|--------|------|---------------|----------|----------|-----------|-----|
| 464 | POC 支援 | | | UNトンピン | | | | | | |

| タスク累計受領数（完了数） | | タスク実施数（第10次要員） | |
|---------------|--|----------------|----|
| | | プライオリティー | 8 |
| | | バイタル | 31 |
| | | ルーティン | 1 |
| 462 (450) | | 計 | 40 |
| | | 完 了 | 28 |
| | | 実施中 | 11 |
| | | 未実施 | 1 |

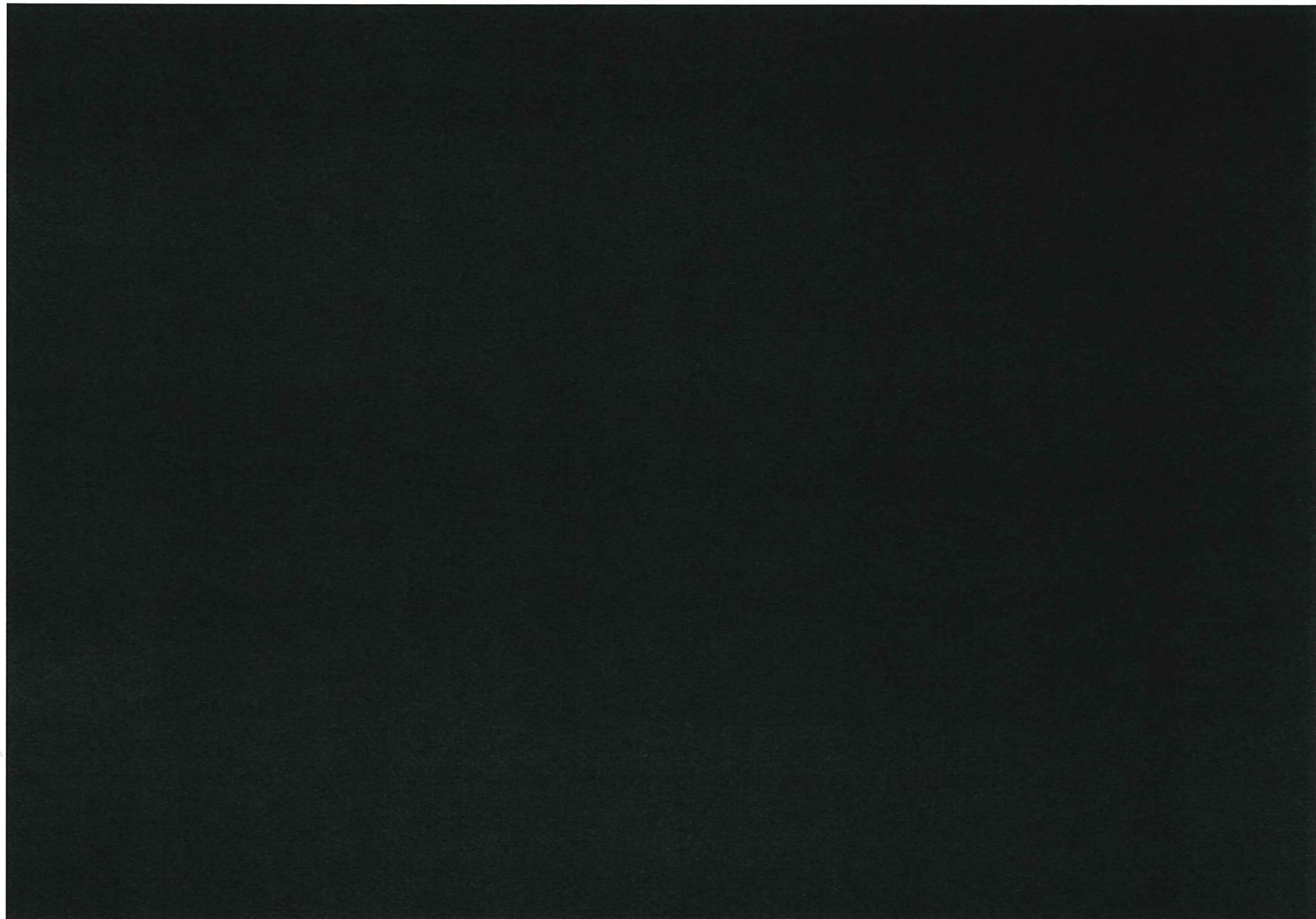
警備の態勢

(7月19日1800現在)



警備の態勢

(7月19日1800現在)



活動写真等

